



# 西二小だより

須賀川市立西袋第二小学校  
平成21年1月8日 第51号  
発行者 校長 吾妻 敦

www.nishibukuro2-e.fks.ed.jp/ E-mail:school@nishibukuro2-e.fks.ed.jp



## 新年のご挨拶



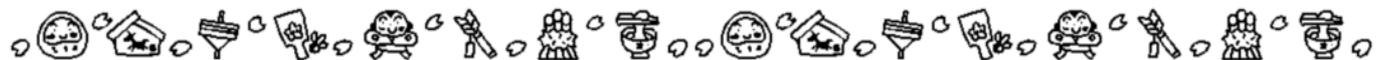
新年あけましておめでとうございます。保護者及び地域の皆様方には、新しい年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。大きなけがや事故等なく冬休みを過ごし、年末年始を元気に過ごした子ども達の顔を本日の第3学期始業式で見ることができ、職員一同嬉しく思っております。

3学期は一年間の学習の振り返りやまとめの時期だけではなく、自分自身の成長を確かめたり、新しい学年への準備を進めたりする大切な学期でもあります。しかしながら、この3学期の授業日数は50日しかありません。この短い3学期をどのように過ごしていくかは、子ども達にとっての課題でもあります。これをやろうと決めて、やり続けて欲しいと思います。私達教職員にとっても、子ども達にとって実りある充実した学期とすることができるよう力を合わせて支援していきたいと考えております。

さて、今年(うし)は丑年(うし)です。ご存じのとおり、丑(うし)という干支は、十二支の第2番目にあたります。元々、十二支は順序を表す記号であって動物とは関係がなく、人々が暦を覚えやすくするために、身近な動物を割り当てたという説もあるそうですが、十二支の始まりについて日本で広く知られているのは、神様が門まで来た順番に十二支を決めたという昔話かもしれません。牛は見るからに動きがゆっくりとした動物ですが、2番目の干支になったことでわかるように真面目な動物なのかもしれません。遅刻しないように早くから出発したとも伝えられています。日本では古来から農作業等に従事して、我々人間にとっても大変身近な存在でもあり、とても真面目な動物として重宝されてきたのだと思います。足取りはゆっくりでも、こつこつと地道に努力を重ねていくことが大切であることを教えてくれているような気がします。



さて、今年も保護者及び地域の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



## 来年度の教育課程・教育計画編成始まる

昨年3月に文部科学省から新しい学習指導要領が公示されました。授業時数の増加や小学校高学年での外国語活動の導入などが決まったことは、新聞報道等でご存じの方も多いことと思います。

平成23年度から、新学習指導要領に基づく教育課程が完全実施されますが、平成21・22年度は完全実施に向けた移行措置期間となります。昨年末から本校でも、来年度の教育課程・教育計画の編成に取り組んでいるところですが、新学習指導要領の移行措置期間に対応して、教育課程の大きな改編・見直しを行います。また、昨年11月に保護者の皆様方からいただいた「学校評価に関するアンケート」等の結果を参考にさせていただきながら、来年度の教育課程・教育計画の編成に取り組んでいるところです。

「学校評価に関するアンケート」の詳しい結果については、後日、各家庭へ配布する予定ですが、本校の児童の実態や地域の本校教育活動への願い等を十分考慮しながら、よりよい教育課程・教育計画を編成していきたいと考えております。

紙幅の都合上、新学習指導要領の内容や来年度の教育課程編成全般については全てをここでお伝えできませんので、後日、改めてお伝えしたいと考えております。